



表 観察項目

下線部は表現や加筆などで修正された部分を示す

領域	修正後項目
運動移動	日常生活動作の移動の困難さと生活上の支障の有無
	自ら行きたい場所への移動可能な手段の有無
	主な外出手段(複数回答)
	階段昇降などや段差がある屋内の移動能力の有無
	以前に比べての筋力低下の有無
	この半年間での転倒経験の有無
	外傷・骨折などの有無と具体的内容
	この半年間の日常生活動作の移動能力の変化
	外出しない(できない)理由(自由記述)
	以下の日常生活動作の困難さと生活上の支障の有無 (食事・排泄・入浴・整容・掃除・買い物・調理・金銭管理)
日常生活	一日の過ごし方に関する自己決定の有無
	家庭内の役割の有無
	この半年間の日常生活の変化
	日常生活動作に関する支援を希望しない理由(自由記載)
	この1か月間の平均外出頻度
	日中の過ごし方
	日中主に一緒に過ごす人(昼間独居の場合緊急時に対応してくれる人)
	別居家族との(電話や訪問などによる)交流の頻度
	近隣の人や友人との(電話や訪問などによる)交流の頻度
	現在の趣味や楽しみの有無
社会交流	困ったときに助けを求めることの能力の有無
	老人会などの地域の集まりへの参加の有無
	本人と家族との関係
	この半年間の社会的活動の変化
	主観的な健康状態
	体調で気になることの有無
	痛みの有無
	既往歴
	現病歴(疾患名とかかりつけ医)
	治療内容と服薬の有無
健康管理	理解力や認知力に関する不安の有無
	毎日の充実感の有無
	抑うつ状態の有無
	食事摂取状況
	現在の体重(自己申告)
	散歩など運動習慣の有無
	聴力・視力・失禁による日常生活上の不自由の有無
	服薬管理を行っている人
	この半年間の健康状態の変化
	傷やあざの有無
権利擁護と不適切な処遇	高齢者の表情の悪化の有無
	高齢者の口数、家族に対するおびえの有無、不平不満、攻撃性の有無
	頭髮、衣服、手足の爪の汚れの有無
	金銭搾取の可能性の有無
	住居の衛生状態
	家族の表情の悪化、反抗・拒否の状態の有無
	家族の整容の乱れの有無
	家族の大変さ、弁解、不平不満の訴えの有無
	家族の投げやりな態度、あるいはそっけない、拒否的態度の有無

支援の判断コードは5項目、問題点や課題のコードでは、運動移動では同様の問題を統合して6項目、日常生活では日常生活動作の問題の他に「家庭内や社会的役割がない」を加え6項目、社会交流では「昼間独居である」を「緊急時対応してくれる人がいない」に変更して7項目、健康管理では「理解力や認知力に不安を感じている」を加えた13項目、権利擁護では修正前から変更のない7項目を設定し、これらに該当しない問題点を選択できるような「その他」のコードを加えた合計40コードに修正した<sup>5)</sup>。

アセスメントシートと支援の内容は修正されず、初めに作成されたものとなった。

## 考 察

予防訪問マニュアルにおいて、予防訪問の目的を明確化し、手順を記載することで、複数の保健福祉職が統一した手順の予防訪問に携わることができた。観察項目では記載された内容については視点を欠くことなく予防訪問に取り組むことができたが、アセスメントの基準は各専門職に委ねられており、判断の基準については今後さらに検討していく必要がある。また、健康

管理に関する項目は、主観的健康感や対象者の自覚症状の訴えによるものが多く、身体状態を判断するための客観的指標を検討する必要があった。今後は、本プログラムにて実施した予防訪問の効果やプログラムの妥当性についてさらに検討していく必要がある。

本研究を実施するにあたり、プレテスト訪問にご協力いただきました泉大津市、泉南市の在宅高齢者の方々、地域包括支援センターの保健福祉職の皆様へ深く感謝いたします。

#### ■文献

- 1) 厚生統計協会：国民衛生の動向・厚生指標 臨時増刊, 55(9)：229-235, 2008.
- 2) 厚生労働省：平成19年度介護保険事業状況報告(年報)概要. 厚生労働省ホームページ(<http://www.mhlw.go.jp/topics/2009/06/dl/tp0624-1b.pdf>)：2009年9月3日確認, 2009.
- 3) 厚生労働省：介護保険事業状況報告(暫定)(平成21年1月分). 厚生労働省ホームページ(<http://www.mhlw.go.jp/topics/kaigo/osirase/jigyom09/0901.html>)：2009年8月31日確認, 2009.
- 4) 辻一郎：総合的介護予防システムについてのマニュアル(改訂版)：厚生労働省ホームページ([http://www.mhlw.go.jp/topics/2009/05/dl/tp0501-1b\\_0001.pdf](http://www.mhlw.go.jp/topics/2009/05/dl/tp0501-1b_0001.pdf))：2009年9月3日確認, 2009.
- 5) Ayumi Kono, Tomoko Fujita, Chieko Tsumura, et al：Preventive home visit model targeted to specific care needs of ambulatory frail elders；preliminary report of a randomized trial design. *Aging Clinical and Experimental Research*, 21：167-173, 2009.
- 6) 地域包括ケア・介護予防研修センター：地域包括支援センター業務マニュアル. 長寿社会開発センターホームページ([http://www.nenrin.or.jp/chii/sonota/pdf/manual\\_0709/07\\_119-186.pdf](http://www.nenrin.or.jp/chii/sonota/pdf/manual_0709/07_119-186.pdf)), 172-181, 2007.
- 7) 厚生労働省老健局：市町村・都道府県における高齢者虐待・養護者支援への対応について. 厚生労働省ホームページ(<http://www.mhlw.go.jp/topics/kaigo/boushi/060424/dl/02.pdf>), 2-4, 2006.
- 8) Mikkel Vass, Kirsten Avlund, Carsten Hendriksen, et al：Preventive home visits to older people in Denmark；Methodology of a randomized controlled study. *Aging Clinical and Experimental Research*, 14(6)：509-515, 2002.
- 9) Yukari Yamada, Naoki Ikegami：Preventive home visits for community-dwelling frail elderly people based on Minimum Data Set-Home Care；Randomized controlled trial. *Geriatrics and Gerontology International*, 3：236-242, 2003.
- 10) Andreas E Stuck, Mathias Egger, Andreas Hammer, et al：Home Visits to Prevent Nursing Home Admission and Functional Decline in Elderly People. *JAMMA*, 287(8)：1022-1028, 2002.
- 11) John N. Morris, et al, 1995/池上直己：在宅ケアアセスメントマニュアル. 厚生科学研究所, 1996.
- 12) 津村智恵子, 河野あゆみ, 藤田俱子：大阪府地域健康福祉施策市町村提案事業(モデル枠)泉南市自立支援ネットワーク構築事業. 37-39, 2007.

#### 藤田俱子(ふじた・ともこ)

大阪市立大学医学部看護学科  
〒545-0051 大阪府大阪市阿倍野区旭町1-5-17

NURSING BOOK INFORMATION

医学書院

## 在宅ケアの不思議な力

秋山正子

●B6 頁192 2010年  
定価1,470円(本体1,400円+税5%)  
[ISBN978-4-260-01047-4]

「在宅ケアって何だろう？」と思う方には、在宅ケアの真髓を。「在宅ケアに取り組むことになった」方には、今日から動ける確かな指針として。そして「これまで在宅ケアを積み重ねてきた」方は、在宅ケアをもっと広めたいことなのでしょう。「最期のかけがえのない時間を、これなら納得して過ごせそう」と、読んだ誰もが希望をもって生きられるようになる1冊です。



